

安心安全

Q 土砂災害防止法に基づく基礎調査の状況は



時光 良造 議員

A 〈町長〉

平成30年度までに完了し、校区ごとに住民説明会を開催する。

〔Q1〕
ハザードマップの早期作成が求められるが、作成時期は。

〔A1〕
第四小学校区は今年度中に、第二小学校区は住民説明会を開催した後、来年度作成予定。

〔Q2〕
イエローゾーン、レッドゾーンに指定された地区の減税が必要と思われるがその時期は。

〔A2〕
固定資産税などの減額などについては、周辺自治体の状況を踏まえながら対象土地及び適用時期の検討を行っている。

〔Q3〕
土地建物所有者の改修に対する支援制度が必要と思われるが。

〔A3〕
レッドゾーンに指定された区域内では、条

件を満たせば工事費用の23%、75万9千円を上限として補助する制度がある。

〔Q4〕
既存の建物を移転、除却する場合の支援体制は。

〔A4〕
現在のところ検討中である。

〔Q5〕
「大規模盛り土造成地」に関する県の公表時期は。

〔A5〕
調査終了後、公表予定とされている。



▲ 以前の土砂災害発生箇所

農業

Q 耕作放棄地対策は



立花 慶三 議員

A 〈町長〉

早急な対応が求められている。農業委員会、農地中間管理機構、農協などと連携し、取り組みを研究していく。

〔Q1〕
耕作放棄地の発生状況は。

〔A1〕
平成27年2月の時点で80ha。さらに増加が推測される。

〔Q2〕
農地中間管理機構はどのように活用されているか。

〔A2〕
過去3年間で約3haが農地集積されている。

〔Q3〕
放棄地にしないためには、集積化の一点のみで片づけるのではなく、農家の望みが叶う方法を考えているか。

〔A3〕
地域共有の課題として認識し、知恵を出し合っただけではなく、一緒に取り組んでいきたい。行政支援としては農地利用最適化推進委員による悩み相談や出

前講座などにより検討、研究していく。

〔Q4〕
市民農園についての取り組みは。

〔A4〕
小面積の農地を利用し、野菜や花を育てる農園であり、近年は耕作放棄地の解消策として注目されている。



▲ 市民農園

〔Q5〕
町での開設を。

〔A5〕
農協と連携して、広くPRし、利用状況等を勘案しながら研究したいと考えている。

公共施設管理・整備

Q 町内小中学校の普通教室にエアコンの設置を

A 〈時光 良造 議員〉

A 〈町長〉

平成30年度に設計を行い、平成31年度から設置を行う。

〔Q1〕
豪雨時の町の警戒体制は。

〔A1〕
大雨警報等の発令時、雨量が増すごとに、警戒体制基準に基づき、対応する職員数を増やし、警戒に当たると、災害が発生する恐れが生じた場合、対策本部を設置し、避難所の開設や避難勧告発令等の決定を行う。

〔Q2〕
避難勧告等の避難情報等、防災行政無線は大雨の際には聞こえにくい、対策は。

〔A2〕
防災行政無線の再生ダイヤル（TEL820-5640）を用意している。更新する予定の無線では、ファックスへの文字情報の自動発信、携帯電話等へのメールの自動発信等を検討している。

〔Q3〕
備蓄物資について自治会単位での備蓄も必要ではないか。

〔A3〕
昨年度、補助制度を設け、各自治会に防災備品を備えてもらった。

〔Q4〕
民間との協力協定は。

〔A4〕
スーパードコンビニなどの災害時応援協定についても検討する。

〔Q5〕
予想を越えた豪雨時、子ども達の安全を確保するため、学校はどのような対応をとるのか。

〔A5〕
子ども達の安全を最優先に考え、保護者と連携し、場合によっては早目に下校させる等の対応をとる。下校が危険な場合は学校待機等、安全を確保する。

〔Q1〕
近年の気温上昇に伴い、熊野町でも最高気温が30℃を超える日が続いている。子ども達の学習環境を整備するため、小中学校の普通教室にエアコンを設置していただきたい。

〔A1〕
現在、大規模改修工事を実施しているところだが、快適な学習環境で学べるように、平成30年度に小中学校の普通教室への設置について設計を行い、平成31年度から単年度あるいは2カ年度の計画でエアコン設置を進めたいと考えている。

〔Q2〕
小中学校の全普通教室へエアコンを設置する場合の総額とその財源は。

〔A2〕
現在、普通教室は78

教室あり、事業費は約2億円を見込む。財源としては文部科学省の、工事費上限2億円・補助率3分の1である学校施設環境改善交付金を考えている。

〔Q3〕
エアコン整備が2カ年事業となる場合はどのように実施するのか。

〔A3〕
文部科学省の補助金の状況をにらみながら、まず進学を控える中学校に、その次に小学校に設置を行っていくように最大限の努力をしていく。



▲ 現在は扇風機で…